

台湾行政院衛生福利部食品藥物管理署の農薬残留基準設定状況について  
 【青森県りんご病害虫防除暦(R4)に採用されている散布農薬の残留基準設定状況】

## (1)殺菌剤:散布

農薬名		有効成分(%)	日本 (ppm)	台湾 (ppm)	
劇	ベフラン液剤	イミノクタジン酢酸塩	25	0.9	0.5
S D H I 剤	普 オルフィンフロアブル	フルオピラム	42	1	0.5
	普 ネクスターフロアブル	イソピラザム	19	5	
	普 フルーツセイバー	ペンチオピラド	15	2	0.4
	普 カナメフロアブル	インピルフルキサム	37	4	
	普 パレード15フロアブル	ピラジフルミド	15	1	
普	ミギワ20フロアブル	イプフルフェノキン	20	2	
普	ユニックス顆粒水和剤	シプロジニル	50	5	1
普	デランフロアブル	ジチアノン	42	2	3
チ ウ ラ ム 剤	普 チオノックフロアブル	チウラム(ジチオカーバメイト系)	40	5	2.5
	普 トレノックスフロアブル	チウラム(ジチオカーバメイト系)	40	5	2.5
マン ゼ ブ 剤	普 ジマンダイセン水和剤	マンゼブ(ジチオカーバメイト系)	80	5	2.5
	普 ペンコゼブ水和剤	マンゼブ(ジチオカーバメイト系)	80	5	2.5
普	アントラコール顆粒水和剤	プロピネブ	70	5	2.5
普	パスポート顆粒水和剤	テトラクロロイソフタロニトリル(クロロタロニル)	72	2	1
普	ラビライト水和剤	チオファネートメチル	20	3	3
		マンネブ(ジチオカーバメイト系)	50	5	2.5
有 機 銅 剤	普 キノンドー顆粒水和剤	有機銅(オキシシン銅)	60	2	2
	普 オキシンドー水和剤80	有機銅(オキシシン銅)	80	2	2
普	オキシラン水和剤	キャプタン	20	15	25
		有機銅(オキシシン銅)	30	2	2
普	アリエッティC水和剤	キャプタン	40	15	25
		ホセチル	40	75	10
普	ダイパワー水和剤	イミノクタジンアルベシル酢酸塩	20	0.9	0.5
		キャプタン	45	15	25
普	コナケシ顆粒水和剤	シフルフェナミド	10	0.7	0.5
普	ポリオキシシンAL水和剤	ポリオキシシン複合体	10	0.1	※
普	オーソサイド水和剤	キャプタン	80	15	25
普	トップジンM水和剤	チオファネートメチル	70	3	3
普	ベンレート水和剤	ベノミル	50	3	3
普	ストライド顆粒水和剤	フルオルイミド	75	10	3

## (2)殺虫剤:散布

農薬名		有効成分(%)	日本 (ppm)	台湾 (ppm)
有機リン剤	劇 エルサン水和剤	PAP(フェントエート)	40	0.7
	劇 ダーズバンDF	クロルピリホス	75	1
	劇 ダイアジノン水和剤	ダイアジノン	34	0.3
	普 スミチオン水和剤	MEP(フェントロチオン)	40	0.5
	劇 スプラサイド水和剤	DMTP(メチダチオン)	36	0.5
	普 サイアノックス水和剤	CYAP(シアノホス)	40	0.5
IGR剤	普 アプロードフロアブル	ブプロフェジン	20	3
	普 デミリン水和剤	ジフルベンズロン	23.5	5
	普 ノーモルト乳剤	テフルベンズロン	5	0.5
	普 カスケード乳剤	フルフェノクスロン	10	1
	普 アタブロンSC	クロルフルアズロン	10	2
	普 ロムダンフロアブル	テブフェノジド	20	2
BT剤	- ファイブスター顆粒水和剤	BT(生菌)	10	※
	- バイオマックスDF	BT(生菌)	10	※
ジアミド剤	普 サムコルフロアブル10	クロラントラニリプロール	10	1
	普 エクシレルSE	シアントラニリプロール	10.2	0.8
	普 テツパン液剤	シクラニリプロール	4.5	0.3
	普 フェニックスフロアブル	フルベンジアミド	18	1
スピノ	<b>普 ヨーバルフロアブル★</b>	<b>テトラニリプロール</b>	<b>18.2</b>	<b>1</b>
	普 ディアナWDG	スピネトラム	25	0.5
	<b>普 デリゲードWDG★</b>	<b>スピネトラム</b>	<b>25</b>	<b>0.5</b>
普 オリオン水和剤	アラニカルブ	40	2	
普 ウララDF	フロニカミド	10	0.8	
普 キラップフロアブル	エチプロール	10	1	
普 トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル	9.5	0.7	
普 コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	20	0.5	
ネオニコチノイド剤	劇 バリアード顆粒水和剤	チアクロプリド	30	2
	普 ダントツ水溶剤	クロチアニジン	16	1
	劇 モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	20	2
ピレスロイド剤	劇 バイスロイドEW	シフルトリン	5	1
	劇 サイハロン水和剤	シハロトリン	5	0.4
	劇 アーデントフロアブル	アクリナトリン	6	0.7
	劇 イカズチWDG	シペルメトリン	9	2

(3)殺ダニ剤:散布

農薬名		有効成分(%)	日本 (ppm)	台湾 (ppm)
マシン油乳剤	普 ラビサンスプレー	マシン油	98	※
	普 ハーベストオイル	マシン油	97	※
	普 トモノールS	マシン油	97	※
	普 アタックオイル	マシン油	97	※
	普 スプレーオイル	マシン油	97	※
劇 サンマイト水和剤	ピリダベン	20	1	0.5
普 バロックフロアブル	エトキサゾール	10	0.3	0.2
普 エコマイト顆粒水和剤	スピロジクロフェン	38	2	0.8
普 オマイト水和剤	BPPS(プロパルギット)	30	5	3
普 コロマイト乳剤	ミルベメクチン	1	0.2	0.2
普 マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート	20	2	1
普 ダニサラバフロアブル	シフルメトフェン	20	2	1
普 スターマイトフロアブル	シエノピラフェン	30	2	2
普 ダニコングフロアブル	ピフルブミド	20	1	0.7
普 ダニオーテフロアブル★	アシノナピル	20	3	

(4)その他:散布塗布

農薬名		有効成分(%)	日本 (ppm)	台湾 (ppm)
シ炭酸カルシウムカ剤	普 クレフノン	炭酸カルシウム	95	※
	普 アプロン	炭酸カルシウム	95	※

- 注 1. 「※」印 台湾で規制しない薬剤  
 2. 「\*」印 作物名「其他(蔬果類)」での検出限界値  
 3. 空欄は台湾において基準未設定  
 4. ( )表示は台湾での預告修正値  
 5. ( )は、設定予定値

【参考】青森県りんご病害虫防除暦(R4)に採用されていない散布農薬の残留基準設定状況

農薬名		有効成分(%)	日本 (ppm)	台湾 (ppm)
殺菌剤	アンビルフロアブル	ヘキサコナゾール	2	0.5
	ブローダ水和剤	マンゼブ	65	5
		ミクロブタニル	2	0.6
	フルピカフロアブル	メパニピリム	40	2
	ナリアWDG	ピラクロストロピン	6.8	1
ボスカリド		13.6	2	
殺虫剤	スタークル顆粒水和剤	ジノテフラン	20	2
	ロディー水和剤	フェンプロパトリン	10	5
	テルスター水和剤	ビフェントリン	2	0.4
	バリアード顆粒水和剤	チアクロプリド	30	2
	キラップフロアブル	エチプロール	10	1
摘花剤	サニデイ	MCPB	0.2	0.2

<参考> 散布農薬以外(農作物病害虫防除指針掲載含む)の基準設定状況一覧

(1)殺菌剤・殺虫剤:塗布、浸漬、灌注など

農薬名	有効成分(%)	日本 (ppm)	台湾 (ppm)
普 バッチレート(塗布剤)	有機銅(オキシ銅)	5	2
普 トップジンMオイルペースト	チオファネートメチル	20	3
普 トップジンMペースト	チオファネートメチル	3	3
普 トップジンM水和剤	チオファネートメチル	70	3
普 ベンレート水和剤	ベノミル	50	3
劇 ベフラン液剤25	イミノクタジン酢酸塩	25	0.9
普 リゾレックス水和剤	トルクロホスメチル	50	0.1
普 フロンサイドSC	フルアジナム	39.5	0.2
劇 クロールピクリン(くん蒸剤)	クロールピクリン	99.5	0.01
普 コンフューザーR	オリフルア	13.2	※
	トートリルア	45.11	
	ピーチフルア	30.6	
普 アプロード	ブプロフェジン	20.0	3

(2)植調剤ほか:摘果、落果防止、摘葉など

農薬名	有効成分(%)	日本 (ppm)	台湾 (ppm)
普 石灰硫黄合剤	石灰硫黄合剤	27.5	※
普 エコルーキー	ギ酸カルシウム	98	※
劇 ミクロデナポン水和剤85	NAC(カルバリル)	85	0.05
普 ストップール液剤	ジクロルプロップ	4.5	0.2
普 ヒオモン水溶剤	1-ナフタレン酢酸ナトリウム	4.4	0.5
劇 ジョンカラプロ	キノメチオナート(キノキサリン)	12.5	0.5
	MEP(フェニトロチオン)	25	0.2
普 スマートフレッシュくん蒸剤	1-MCP(1-メチルシクロプロペン)	3.3	0.01

注 1.「※」印 台湾で規制しない薬剤  
2. 空欄は台湾において基準未設定

<基準値改正に関する台湾当局のHP>

<https://www.fda.gov.tw/TC/newsContent.aspx?cid=3&id=27246> (具体的な基準値は新旧対照表参照)